

問題解説アシスタント

問題から、解き方の理解へ

問題を渡す、解説を読む、質問する、類題で確かめる。その一連の操作を案内します。



実際のアプリ画面。掲載例の教材・氏名・得点・日程は操作説明用です。

ユーザーズ・オペレーションマニュアル

画面を見ながら進める手順 / 保存と再開 / 困ったときの対処

CONTENTS

目的から探す

初めての方は最初から。操作中は必要な項目へ進んでください。

解答・解説の引き渡し	3	起動と前回の内容	4
まず、1問の解説を読んでみる	5	画面のどこを使うか	6
Google認証とモデルを準備する	7	問題文と解説条件を整える	8
画像・PDF・音声を添付する	9	PDFの対象ページを確定する	10
紙の問題・答案を取り込む	11	解説を生成し、ログを確認する	12
結果のタブを読み分ける	13	追加質問と類題で確かめる	14
保存方法を選ぶ	16	JSONと学習履歴から再開する	17
困ったときの確認順	18	毎日の起動・更新・終了	19
資料を添えて追加質問する	20	AI処理の進み具合と再実行	21
リリースノート	22		

この本の使い方

目次の項目はクリックできます。画面例はPC表示が中心です。画面の幅や端末によってボタンの折り返し・位置が変わるため、説明にあるボタン名を目印にしてください。

番号付きの手順は上から順に操作します。青緑の図は操作の流れ、表は機能や保存方法の違い、黄色の欄は確認ポイントを示します。

01 / 問題解説アシスタント

解答・解説の引き渡し

学習コーチで採点済みの場合は、「解答・解説」で模範解答・添削理由・解説・関連知識も引き渡し、問題解説アシスタントに表示します。未採点の場合は問題を受け取り、「解説を生成」で解説を作成します。

既存の解説を読む

受け取った模範解答と解説は、問題解説タブで確認できます。必要に応じて関連解説を開き、JSONで保管できます。

02 / 問題解説アシスタント

起動と前回の内容

初回は設定済みのサンプルを表示します。2回目以降は前回作成した問題・結果を復元します。他アプリから問題を受け取った場合は、その問題を優先します。

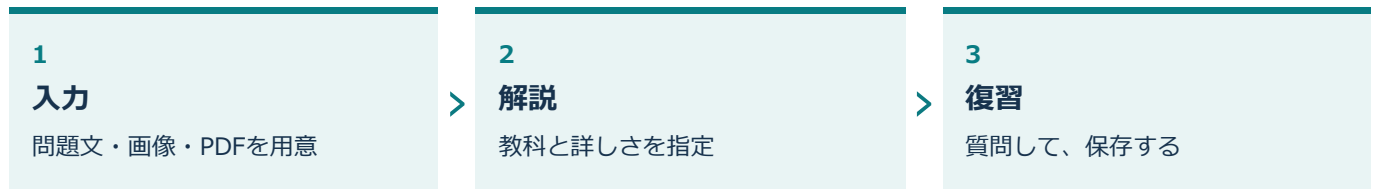
前回の内容を再開する

同じ端末・同じブラウザ・同じアプリのURLで開いてください。問題・結果・添付資料を確認して操作を続けます。受け取った教科・科目を変更した場合は、変更後の条件で解説・類題を作成します。

03 / 問題解説アシスタント

まず、1問の解説を読んでみる

問題文を入力して、答えに至る考え方と関連知識を確認します。



1 Google認証とモデルを設定する

右上のアカウント・モデル表示から設定します。認証とモデルの指定が両方そろってから生成できます。

2 「問題入力・解説」を開く

上部ボタンを押し、問題文の入力欄へ「二次方程式 $x^2 - 5x + 6 = 0$ を解きなさい」と入力します。これは操作練習用の例です。

3 条件を選ぶ

教科を「理数」、科目を「数学」にし、解法レベルを学習中の範囲に合わせます。詳しさは最初は「普通」で試します。

4 「解説を生成」を押す

問題解説と関連解説が順に作成されます。生成中は画面を閉じずに待ち、終わったら「問題解説」タブを開きます。

5 分からない箇所を質問する

「AIへ追加質問」で、たとえば「因数分解で2と3を選ぶ理由を説明してください」と質問します。

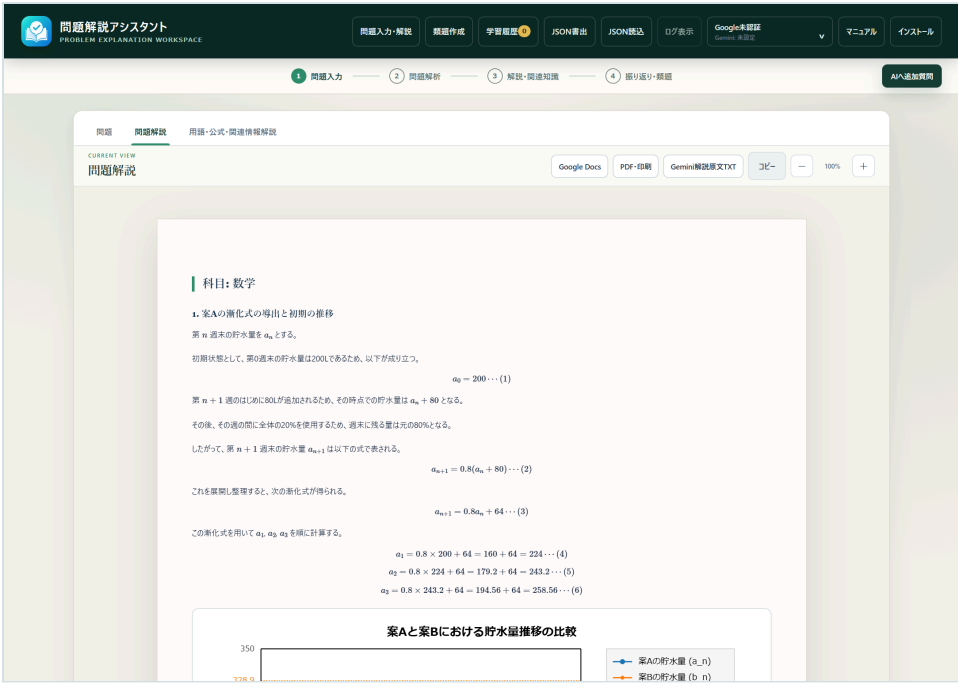
できたことの確認

元の問題が「問題」に表示され、解説の根拠を読み、自分の言葉で解き方を説明できれば最初の操作は完了です。大切な解説はPDFやJSONでも保存します。

04 / 問題解説アシスタント

画面のどこを使うか

入力パネル、結果タブ、追加質問の3か所を行き来します。



画面例：サンプル問題をJSON読込で開いた状態。画面上部から入力・履歴・保存の操作へ進みます。

画面の場所	主な操作
最上部	「問題入力・解説」で入力を開く。「学習履歴」で過去の記録。「JSON書出／JSON読込」で端末のファイル进行操作。
中央のタブ	「問題」「問題解説」「用語・関連解説」を切り替える。教科により関連解説タブの表示名が変わります。
結果上のボタン	Google Docs、PDF・印刷、Gemini解説原文TXT、コピー、拡大・縮小。
上段右の追加質問	「AIへ追加質問」で現在の問題について質問する。

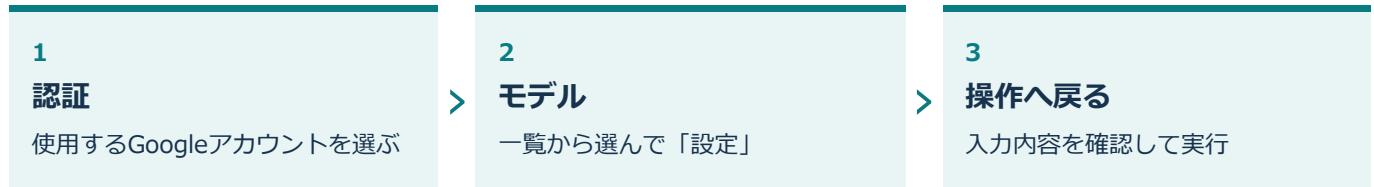
パネルを閉じたいとき

入力・履歴パネルは×、背景部分、Escキーで閉じられます。入力パネルを閉じたら、中央の結果が広く見えます。

05 / 問題解説アシスタント

Google認証とモデルを準備する

AIを使う前に、保存先のアカウントと使用モデルを確認します。



1 右上のアカウント・モデル表示を押す

「Google未認証」やアカウント名、Geminiモデル名があるボタンを開きます。

2 Google認証を完了する

設定・認証ボタンから認証画面を開きます。使用するアカウントと権限を確認して進みます。

3 モデルを選んで「設定」を押す

Geminiモデルの一覧から指定します。画面上部に選んだモデル名が表示されたことを確認します。

4 元の操作を実行する

入力画面へ戻り、生成・分析などのボタンを押します。入力が不足している場合は、その案内に従って補います。

こんなとき	確認すること
認証画面が開かない	ブラウザのポップアップ制限を確認し、許可後に認証ボタンを押し直します。
履歴が見つからない	保存時と同じGoogleアカウントか確認します。アカウントを変えると履歴の参照先も変わります。
モデルが選べない	通信状態を確認して設定を開き直します。一覧が取得できるまで実行を待ちます。

共有端末で使うとき

画面のアカウント名を毎回確認します。アカウント変更は設定内の切替操作を使い、履歴を開く前に切替先の名前を確認してください。

06 / 問題解説アシスタント

問題文と解説条件を整える

問題を正しく伝えるほど、必要な範囲の説明を得やすくなります。

問題を読み取り、理解へつなげる。

問題文や画像・PDF・MP3・MP4を追加し、教科と解説の詳しさを指定します。

01 問題を入力 新しい問題

【公開サンプル用の架空問題】貯水設備の運用を数列で比較する（高校数学B・発展）
 初期貯水量は200L。案Aでは毎週はじめに80Lを加え、その週に全体の20%を使用する。第 n 週末の量を a_n とし $a_0=200$ 。容量500Lで、あふれはないとする。
 1 操作の順序から漸化式を導き、 a_1, a_2, a_3 を表にまとめよ。
 2 一般項を求め、単調性と上限を証明せよ。
 3 300L以上になる最初の週を求め、その前の週も検証せよ。

画像・PDF リスニング音声 カメラで撮影

貼り付け 画面取込 添付解除

画像・PDF・MP3・MP4はこの枠内へドラッグ＆ドロップできます。画像はクリップボードからも貼り付けできます。

02 解説条件

教科
 理数

科目 解説レベル
 数学 高校(数II・B・III)

詳しさ
 簡素 普通 詳細

実画面：問題入力・解説パネル。下部へスクロールすると生成ボタンがあります。

1 問題文を入力する

設問番号、条件、選択肢を含めて入力します。複数問なら、どの問題を説明してほしいか明記します。

2 教科・科目を確認する

自動判別を使った場合も、表示された教科が合っているか確認します。違う場合は自分で選び直します。

3 学習範囲に合わせる

理数では解法レベルを指定します。まだ習っていない方法を避けたい場合は、問題文に「中学で習う方法で」などを補います。

4 詳しさを選ぶ

要点を素早く確認するなら「簡素」、通常は「普通」、途中の理由まで読むなら「詳細」を選びます。

新しい問題へ切り替える前に

残したい結果を保存してから「新しい問題」を使います。前の問題の条件や添付が残っていないか確認してください。

07 / 問題解説アシスタント

画像・PDF・音声を添付する

紙面やリスニング資料を使う場合は、問題に必要な内容をそろえます。

入力方法	使い方
画像・PDF	ボタンで選ぶか、入力枠へドラッグ&ドロップします。画像・PDFは1ファイル15MB以下です。
貼り付け	クリップボードにコピーした問題文や画像を取り込みます。ブラウザーに許可を求められたら、案内に従います。
画面取込	共有する画面を選び、問題部分を取り込みます。端末やブラウザーによって利用できない場合があります。
リスニング音声	MP3またはMP4を選びます。100MB以下。MP4は音声トラックを使い、映像の内容は解析しません。
添付解除	誤った資料を付けたときに外します。画面のファイル名とプレビューを確認して選び直します。

添付前に確認すること

1 必要な条件を含める

本文だけでなく、選択肢、図形の長さ、グラフの軸・単位、表の見出しも入れます。

2 読める大きさにする

小さい文字や薄い鉛筆は読み誤りの原因になります。ページを絞り、必要な条件はテキストで補います。

3 リスニングには設問も付ける

音声だけで判断しにくい問題は、問題文・選択肢の画像やPDFと一緒に用意します。

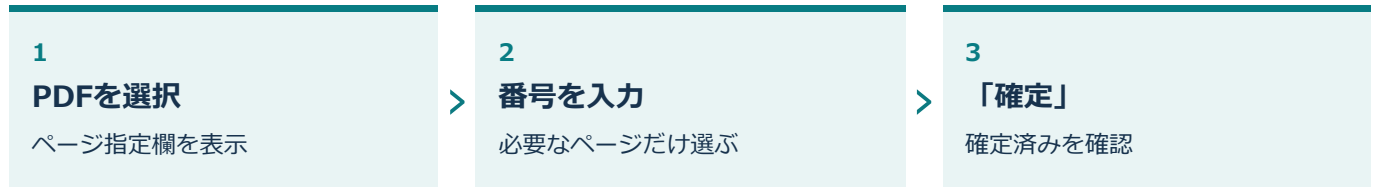
解説の前提を確かめる

AIが読み取った数字・符号・固有名詞が元の資料と一致するか確認します。違う場合はその箇所を明記して、再生成または追加質問で修正を求めます。

08 / 問題解説アシスタント

PDFの対象ページを確定する

ページ番号の入力と、確定ボタンの操作は別です。



入力例	選ばれるページ
1	1ページ目のみ
1,3-5	1・3・4・5ページ目
2-4	2・3・4ページ目

1 PDFを添付する

「画像・PDF」から選びます。PDFノートブックから引き渡されたPDFも、対象ページを確認します。

2 ページ欄へ番号を入力する

PDFの先頭を1ページ目として数えます。紙面に印刷されたページ番号と異なることがあるため、表紙の有無も確認します。

3 「確定」を押す

番号を変更しただけでは確定しません。対象ページと確定済みの表示を確認してから解説を生成します。

4 対象を変えたら確定し直す

ページ番号を書き換えたときは、再度「確定」を押します。

うまく読み込めない場合

存在するページ番号か確認します。大きいPDFは問題のページだけに絞ります。パスワードを求められた場合は、そのPDFを開くためのパスワードを入力してください。

09 / 問題解説アシスタント

紙の問題・答案を取り込む

撮影後に範囲と画質を確認すると、文字や図表を読み取りやすくなります。



使い方	選ぶ方法	確認する場所
複数枚の問題や答案をまとめる	PDF	四隅を紙の輪郭へ合わせ、追加撮影でページを増やす。
1問・図表などを切り出す	画像	点線枠の上下左右を動かし、必要な部分を1枚に収める。

1 「カメラで撮影」を押す

PDFまたは画像を選びます。カメラ利用の許可が求められたら許可します。端末の写真から選べる画面では、撮影済み画像も使えます。

2 問題全体が読めるように撮る

設問番号、条件、選択肢、図のラベルまで入れます。答案の場合は、途中式や記述も切らずに含めます。

3 範囲と画質を調整する

PDFは四隅、画像は長方形の点線枠を調整します。補正メニューを試した後、確認画面で薄い文字が消えていないか見ます。

4 取り込んだ内容を確認する

複数ページは順番も確認します。PDFの対象ページを指定する欄が出たら、ページ指定を確定してから次の操作へ進みます。

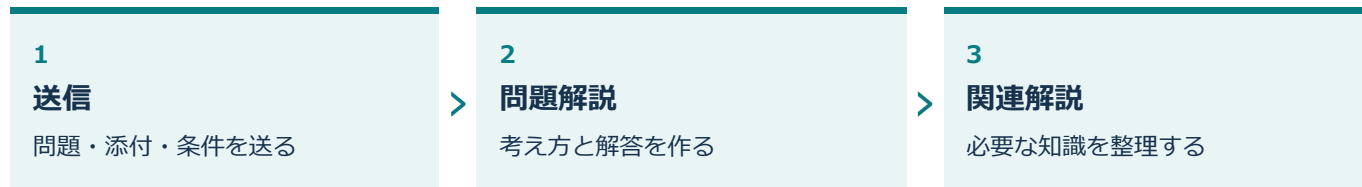
読めないときは、同じ写真で何度も生成しない

影や反射を避けて撮り直します。小さい文字は問題の近くから撮り、足りない条件は入力欄や補足情報へ書き加えてください。

10 / 問題解説アシスタント

解説を生成し、ログを確認する

問題解説の後に、用語や公式などの関連解説が続きます。

**1 生成直前に入力を見直す**

問題文、添付、PDFのページ、教科、詳しさを確認します。「解説を生成」を一度押します。

2 処理ログを見る

送信中・応答待ち・完了・エラーを確認します。待機中は結果欄が変わらないこともあります。

3 結果タブへ戻る

問題解説の表示後も関連解説の処理が続く場合があります。必要なタブの内容が出そろったか確認します。

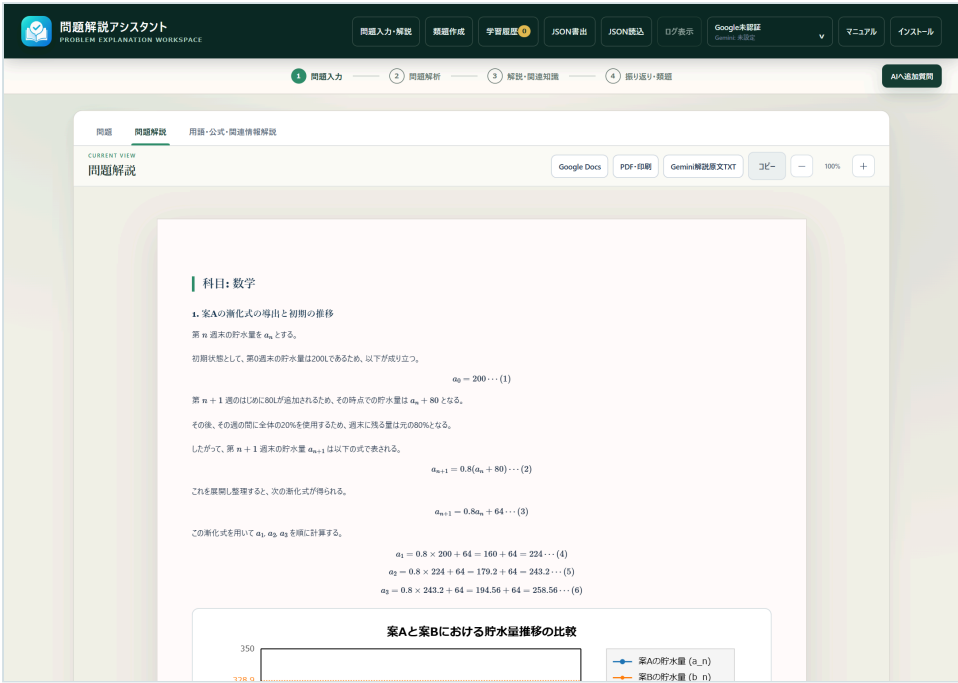
ログでの操作	意味
×で閉じる	ログの表示を閉じます。AIとの処理は継続します。
ログ表示	上部ボタンからログを再表示します。
見出しをドラッグ	ログ枠の位置を変えます。端や角で大きさを調整できます。
自動再試行	Geminiの一時的な混雑・通信の失敗は、待ち時間を置いて自動で再試行します。
エラー後の再実行	自動で回復できない場合は待機を終了します。入力を確認し、原因を解消してから元の実行ボタンを押します。

同じ操作を連打しない

応答待ちとエラーを区別し、処理状況を見てから再試行します。解説は学習補助として使い、重要な答えは教科書や授業の説明と照合します。

結果のタブを読み分ける

答えだけでなく、条件・根拠・使った知識を順番に確認します。



実画面：問題解説タブ。表示内容は操作説明用のサンプルです。

タブ・操作	ここを見る
問題	元の問題文・図表・添付。解説の前提が違ってないかを確認します。
問題解説	条件整理、方針、途中式、解答、誤りやすい点。どこで自分の考えと分かれたかを探します。
用語・関連解説	公式や用語の意味、背景知識など。英語などでは語彙・文法・読解の表示になります。
+ / - ・縦書き	読みやすい大きさへ調整します。国語で縦書きボタンが出る場合は、向きを切り替えられます。

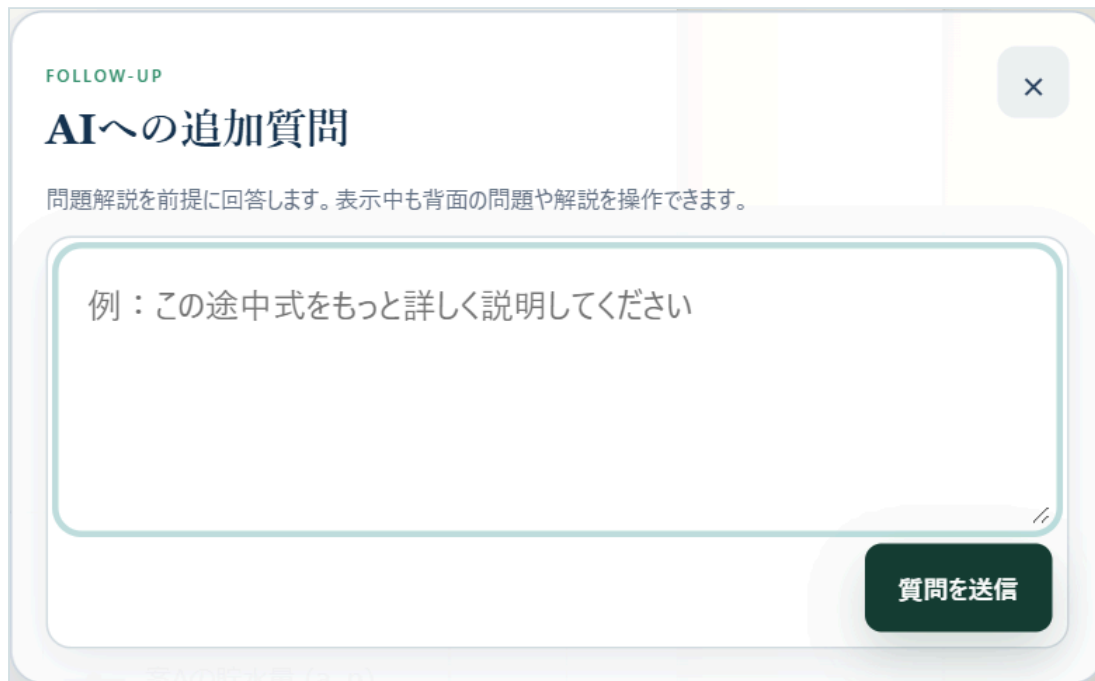
復習のしかた

解説を閉じて、自分で同じ問題を解き直します。説明できない箇所が残ったら、その途中式や文章を指定して追加質問します。

12 / 問題解説アシスタント

追加質問と類題で確かめる

分からない点を1つずつ質問し、別の問題で理解を確かめます。



実画面：追加質問ウィンドウ。元の問題を見ながら質問できます。

1 「AIへ追加質問」を押す

現在の問題と解説を前提に質問できます。見出しをドラッグして、読みたい部分を隠さない位置に移します。

2 具体的な質問を入力する

「なぜですか」だけでなく、「解説の2行目で両辺を割れる理由」「この公式を使える条件」など、対象を示します。画像・PDF・TXT・音声や撮影した資料も添付できます。資料を添えて追加質問するを参照してください。

3 別の問題に進む

上部の「類題作成」を押すと、問題や図表などを学習コーチへ渡します。開いた学習コーチで条件を確認して進めます。学習コーチの「解答・解説」から戻る場合は、受け取った科目・問題文・図表・添付資料を確認し、「解説を生成」を押します。Google認証・Geminiモデルの設定済みなら自動で類題を作成します。未設定の場合も受け取った問題は保持されます。設定を完了し、「問題設定」の「問題を作成」を押してください。

質問例

「答えを言わずに、最初の一手だけヒントをください」「この誤答のどこで条件を使い忘れましたか」「別の解法と比べてください」など、知りたいことを絞ります。

13 / 問題解説アシスタント

保存方法を選ぶ

読み物として残す方法と、アプリに再表示する方法を使い分けます。

目的	使う操作	残るもの
紙で読む・配る	PDF・印刷	問題と解説を印刷用の形で保存。
編集・共有する	Google Docs	Googleドキュメントへ出力。認証が必要。
画面へ復元する	JSON書出	このアプリで読み込める結果データ。
過去の解説を開く	学習履歴	認証中のGoogle Driveに保存された記録。
文章を他へ貼る	コピー	表示中の内容をクリップボードへ。
生成原文を残す	Gemini解説原文TXT	生成時の原文がある場合にテキストとして保存。

PDFを端末に保存する

1 「PDF・印刷」を押す

先に解説を生成または読み込みます。問題・問題解説・関連解説を出力する印刷画面が開きます。

2 保存先を「PDFに保存」にする

印刷プレビューで文字・図表・改ページを確認します。端末により保存メニューの表示名が変わります。

3 保存後にファイルを開く

保存先とファイル名を確認し、必要なページが含まれていることを確かめます。

ファイル名の目印

保存名は「解説アシスタント_機能名_YYYYMMDDhhmm-詳細.拡張子」の形式です。PDFは印刷画面で最終的な名前を確認してください。

14 / 問題解説アシスタント

JSONと学習履歴から再開する

端末にあるファイル、またはGoogle Driveの記録から開き直せます。



1 端末へ保存する

上部の「JSON書出」を押します。問題と解説があることを確認し、保存したファイルを見つけやすい場所へ置きます。

2 JSONを読み込む

「JSON読込」でこのアプリのJSONを選びます。現在の表示が切り替わるため、今の内容も残すなら先に書き出します。Google認証は不要です。

3 Driveの履歴を使う

保存時と同じGoogleアカウントで認証し、「学習履歴」から記録を再表示します。未解説の問題が保存されている場合は、その問題から後で生成できます。

保存場所	使う場面
端末のJSON	手元のファイルで復元したいとき。別アプリのJSONは読み込めません。
Google Driveの履歴	過去の問題や解説を探すとき。「000Faith-SW-データベース」内のアプリ用フォルダーに保存されます。
入力途中の状態	同じブラウザで作業を続けるための情報。大切な結果を残す用途ではJSONやPDFも保存します。

添付と共有

JSONに含まれる画像や添付データも読み込み対象です。配布する前に、問題文・答案・添付に共有したくない情報がないか確認してください。

15 / 問題解説アシスタント

困ったときの確認順

入力、認証、通信、結果の順に、原因を絞ります。

症状	対処
解説を生成できない	問題文または添付があるか、PDFを確定したか、認証とモデル設定が済んでいるかを確認します。
問題を読み違える	文字の大きさ・明るさ・ページ範囲を確認します。数字や条件をテキストで補い、どこが違うか指定します。
関係のない解説が出る	元の問題と添付を見直し、教科・科目・解法レベルを指定して生成し直します。
追加質問が送れない	生成が完了しているか、質問文があるか、通信と認証を確認します。
Google Docsが開かない	Google認証とポップアップ許可を確認します。先にJSONやPDFで結果を保管できます。
JSONが読めない	問題解説アシスタントで書き出したJSONか確認します。PDFや別アプリのJSONは対象外です。
ログを閉じてしまった	上部の「ログ表示」で戻せます。閉じても生成処理は続きます。
古い内容のまま	必要な結果を保存してから再読み込みします。インストール済みアプリは終了して開き直します。

問い合わせるときに残す情報

操作したボタン名、問題の入力方法、対象ページ、エラー文、発生時刻を控えます。通信エラー画面の詳細コピーが使える場合は、その内容も記録します。

16 / 問題解説アシスタント

毎日の起動・更新・終了

ブラウザーから利用でき、対応する端末ではアプリとして追加できます。

端末	追加の操作
WindowsなどのPC	アプリ内の「インストール」、またはブラウザーのインストール機能を使います。表示名や場所はブラウザーによって異なります。
iPad・iPhone	Safariで開き、共有メニューから「ホーム画面に追加」を選びます。
その他の端末	ブラウザーにアプリ追加・ホーム画面追加の項目がある場合に利用できます。

終了前にすること

1 処理中か確認する

AI処理やファイルの保存が進行中なら、完了または中断を確認します。ログ枠を閉じるだけでは処理の中止にならない場合があります。

2 残したい結果を保存する

共有・印刷用ならPDF、画面へ戻す用途なら各アプリのJSONや履歴など、目的に合う方法で保存します。

3 次回の入口をそろえる

端末内のデータを使うときは、同じ端末・同じブラウザー・同じアプリのURLから開きます。

古い画面が表示されるとき

作業を保存してからページを再読み込みします。インストール済みアプリは一度終了して開き直します。先にサイトデータを消すと、端末内の下書きや注釈を失う場合があるため、保存を済ませてください。

アプリの削除と保存データ

削除は端末のアプリ一覧やホーム画面から行います。Google Driveへ保存したデータと端末内データは保存場所が異なります。大切なファイルは削除前に別途保存してください。

資料を添えて追加質問する

「AIへ追加質問」を開き、質問と一緒に資料を追加します。追加質問の資料を取り込んでも、元の問題や作成済みの解説は変わりません。

ファイルを選ぶ・ドロップする

ファイル選択で複数の資料を選ぶか、追加質問の入力エリアへまとめてドラッグ&ドロップします。取り込み後はファイル名を確認し、不要な資料は添付一覧から外します。

形式	取り込み方・上限
画像・PDF	1ファイル15MBまで。PDFは必要なページを指定して確定します。
TXT	1ファイル1MB、合計2MBまで。文字を質問の参考資料として読み込みます。UTF-8・BOM付きUTF-8・Shift_JISに対応します。
MP3・MP4	1ファイル100MBまで。MP4は端末内で音声を実MP3へ変換して送信します。元のファイルは変更しません。

PDFの対象ページを確定する

添付したPDFのページ欄へ、たとえば 15-16 や 1, 3-5 を入力し、確定します。ページ指定を変更したときは再度確定してください。確定したページを質問に添えて送信します。

カメラ・貼り付け・画面取込を使う

「カメラで撮影」は、問題入力と同じように画像またはPDFとして取り込めます。範囲や画質を確認し、PDFでは追加撮影で複数ページをまとめられます。「貼り付け」で画像や文字を追加し、「画面取込」で共有する画面を選んで画像を取り込めます。

送信と再実行

質問文と添付一覧、PDFの対象ページを確認して送信します。変換・送信中は処理ログを確認してください。失敗した場合は質問と添付が残るので、原因を確認して同じ内容から再実行できます。成功後は添付欄が空になり、会話には送ったファイル名とPDFの対象ページが記録されます。次の質問でも同じ資料を使う場合は、改めて添付してください。

AI処理の進み具合と再実行

大きいPDF・画像と音声

PDFは必要なページを選びます。大きい添付資料は自動で小分けに送信し、資料の内容を揃えてから解析します。転送中は処理ログで進み具合を確認できます。

音声として添付したMP4などは、端末内で音声を取り出してMP3を準備してから送信します。元のファイルは変更しません。準備中は画面を閉じずに待ってください。音声が含まれない場合や端末で読み取れない形式の場合は、案内を確認し、再生できるMP3などの音声ファイルを選び直してください。

混雑・通信切断・不完全な応答

一時的な混雑や通信の失敗、本文が欠けた応答は、待ち時間を置いて自動で再試行します。処理ログで状況を確認し、同じ実行ボタンを続けて押さずにお待ちください。再試行には回数と待機時間の上限があります。

処理が完了しなかったとき

自動で回復できない場合はエラーを表示し、応答待ちを終了します。入力した内容は残るので、エラーの原因を確認し、必要な条件を直して元の実行ボタンから再実行してください。中止ボタンのある機能は、待機中や再試行中も中止できます。

認証・利用上限の案内が出たとき

Google認証やGeminiモデルの設定を確認します。利用上限・権限不足・使用できないモデルの案内は、同じ要求を繰り返しても解決しません。画面の案内に従って設定を確認するか、利用可能になるまで待ってから再実行してください。

Googleドライブから開く・保存する

ファイルを開くときや書き出すときは、読み込み元・保存先で「端末」または「Googleドライブ」を選びます。Googleドライブを利用するときは、先にアプリのGoogle認証を完了してください。Drive画面に表示される認証アカウントを確認します。フォルダーは選択ウィンドウの横幅いっぱい、階層が分かるツリー形式で表示します。「選択して開く」「このフォルダーに新規保存」「キャンセル」などの操作ボタンはツリーの右下にあります。フォルダー行をクリックすると選択され、子フォルダーがある場合は展開・折りたたみが切り替わります。選択中のフォルダーは緑色で強調され、上部にその階層を表示します。読み込み時は選択したフォルダーを展開し、ツリー内に表示されるファイルへチェックを付けます。ファイル名でDrive全体を検索すると、ツリー内の「Drive全体の検索結果」から選べます。「フォルダーツリーを更新」で最新のフォルダー一覧を取得できます。複数選択に対応した操作では、複数のファイルにチェックを付けられます。

保存するときは保存先フォルダーとファイル名を指定し、「このフォルダーに新規保存」を押します。同名のファイルがあっても上書きせず、新しいファイルとして保存します。保存後はGoogleドライブで保存先フォルダーのファイルを確認できます。「キャンセル」で操作を中止できます。カメラ撮影とフォルダー一括取り込みは端末から行います。Driveの通常ファイルの読み込みと保存は16MBまでで、各操作が対応する形式だけを選択できます。音声を扱う操作では、MP4は16MBを超えていても選択でき、取り込み時に音声をMP3へ変換します。端末から選んだMP4も同様に変換します。音声がないMP4や対応していない音声形式は変換できません。変換の進捗を表示し、「キャンセル」で中止できます。大きなファイルは読み込みと変換に時間がかかります。Googleドキュメント・スプレッドシート等はPDFやTXT等へ書き出してから選択してください。認証エラーが出た場合は選択画面を閉じ、アプリでGoogle認証をやり直してください。ブラウザーの印刷画面で行うPDF保存は、印刷画面の保存先を使います。

アプリの更新案内

ページ更新が必要な更新を検出した場合だけ、案内ダイアログを表示します。作業中の内容を保存してから、ブラウザーのページ更新（円の矢印マーク）を押してください。案内を閉じて自動では再読み込みしません。更新済みの場合や、更新を確認できない通信状態では表示しません。

PDFの紙面を見てページを選ぶ

PDFを取り込んだら、ページ指定欄の「ページを見て選ぶ」を押します。ページ番号と紙面を確認し、使うページにチェックを付けてください。「前のページ」「次のページ」や表示ページ番号で移動でき、表示倍率で拡大できます。「選択したページを入力」で元の欄へ反映し、元の画面の「確定」で使用ページを確定してください。「閉じる」で戻った場合、元の指定は変更されません。

PDFの保存先を選ぶ

PDF保存・PDF出力・印刷の操作では、アプリ内で「端末」または「Googleドライブ」を選びます。Googleドライブを選ぶと認証済みアカウントのフォルダーツリーを表示するので、保存先とファイル名を指定して「このフォルダーに新規保存」を押してください。同名のファイルがある場合も新しいファイルを作成します。取り消しても表示内容は残ります。端末を選んだ場合は、ブラウザーの印刷画面またはファイル保存画面で保存します。

Googleドライブへ出力するPDFは、Googleの文書形式に合わせて表・文章を整えるため、端末の印刷PDFとページ区切りや配置が異なる場合があります。保存できるファイルは16MBまでです。

PDF保存時の表示

PDF保存では、別のプレビュー用ウィンドウを開かず、元の画面で保存先選択を表示します。「端末」または「Googleドライブ」を選んでください。端末を選ぶとブラウザーの印刷・保存画面に進みます。キャンセルしても元の内容は残ります。

Gemini応答の中断

問題解説の応答中は、問題入力欄を閉じていても、解説表示欄または応答ログの中断ボタンで停止できます。Geminiの応答中は、応答ログまたは処理中のウィンドウの中断ボタンで停止できます。入力と添付資料は保持され、同じ操作で再実行できます。

リリースノート

アプリの修正・追加内容を新しい順に掲載します。マニュアル自体の更新内容ではなく、過去の履歴も継続して掲載します。

公開日	アプリの修正・追加内容
2026年10月10日	問題解説の応答中は、問題入力欄を閉じていても、解説表示欄または応答ログの中断ボタンで停止できます。
2026年10月10日	Gemini応答を、応答ログと処理中のウィンドウから中断できるようにしました。中断後も入力と添付資料を保持します。
2026年10月10日	PDF保存の際に別のプレビュー用ウィンドウを表示せず、元の画面で保存先選択を行うようにしました。
2026年10月10日	PDF保存・出力の保存先でGoogleドライブを選び、フォルダーとファイル名を指定してPDFを保存できるようにしました。端末への印刷・保存も選択できます。
2026年10月10日	PDFのページ指定欄に、ページ番号と紙面を確認しながら使用ページを選べるビューワーを追加しました。前後の移動・ページへのジャンプ・拡大表示・複数ページ選択を利用できます。
2026年10月10日	アプリの更新内容を判定し、ページ更新が必要な場合だけ、保存してからブラウザーの円の矢印マークを押す案内を表示します。
2026年10月10日	- Googleドライブのフォルダーツリーを選択ウィンドウの横幅いっぱいに表示し、開く・保存・キャンセルのボタンをツリー右下に配置しました。 - ファイル選択時は、選択したフォルダー内の対応ファイルをツリー内に表示し、チェックを付けて開けます。 - 音声入力で、サイズ上限を超えるMP4も選択し、取り込み時にMP3へ変換できるようにしました。
2026年10月09日	Googleドライブのフォルダー選択を、階層を展開・折りたたみできるツリー形式に変更しました。選択したフォルダーを強調表示し、読み込み元・保存先を確認できます。
2026年10月09日	Googleドライブで選択した保存先へファイルを新規保存する処理を改善しました。

公開日	アプリの修正・追加内容
2026年10月09日	ファイルの読み込み元と保存先で、端末に加えて認証したGoogleドライブを選べるようにしました。
2026年10月05日	- AIへの追加質問に、画像・PDF・TXT・MP3・MP4の複数ファイル選択とドラッグ&ドロップ、PDFの対象ページ指定を追加しました。MP4は音声をMP3へ変換して送信します。 - 追加質問でカメラ撮影・画像や文字の貼り付け・画面取込を使えるようにしました。元の問題と解説を保ち、失敗時は質問と添付を残して再実行できます。
2026年10月05日	- PDF・画像・音声の大きい添付資料を小分けに送信し、音声用のMP4などをMP3へ準備して送信容量を抑えるようにしました。 - Geminiの一時的な混雑・通信切断・不完全な応答を自動で再試行し、回復できない場合も入力を保持して応答待ちを終了するようにしました。
2026年10月02日	学習コーチの「解答・解説」で、既存の模範解答・添削理由・解説・関連知識を問題解説アシスタントへ渡し、再生成せず表示・保存できるようにしました。
2026年10月02日	受信した問題の教科・科目を手動で変更した場合、変更後の条件を解説と類題作成に反映するよう修正しました。
2026年10月02日	- 学習コーチから受け取った科目と複数の入力資料を解説に反映し、以前の問題の音声や科目条件が残らないよう修正しました。 - 初回の設定済みサンプルと、2回目以降の問題・解説・添付資料の復元を改善しました。
2026年10月01日	「類題作成」で、開いている学習コーチにも問題文・図表・画像・PDFを引き渡せるよう改善しました。
2026年09月21日	- 解説内で++に囲まれた語句を下線付きで表示できるようにしました。 - 全内容のPDF出力を白背景・無枠にし、問題解説と用語・関連解説をそれぞれ新しいページから開始するようにしました。 - 解説生成の開始時点で履歴を保存し、処理中でも入力した問題へ戻りやすくしました。
2026年09月15日	- 英語問題の関連解説で、重要語句を発音・品詞・意味・語源・関連語・コロケーション・例文を含む一覧表で確認できるようにしました。 - 画面表示と縦書きPDFで、問題解説と関連解説を読みやすい文字サイズに調整しました。

公開日	アプリの修正・追加内容
2026年09月11日	• 結果をJSONで保存し、図表・数式・添付データを含めて再読み込みできるようにしました。 • 初回起動時に、問題・問題解説・語彙を確認できるサンプルを表示するようにしました。 • 問題と添付資料を学習コーチへ引き渡し、同じ学習目標の類題を作成できるようにしました。